

議会審議をピックアップ!

こんなことが決まりました



12月10日から開会した「平成26年第4回熊野町議会定例会」に、町長から報告が2件、議案が15件提出された。また議員からも発議案が1件提出され、原案どおり可決した。

条例改正

■熊野町放課後児童センターの設置及び管理に関する条例

■熊野町放課後児童クラブ設置運営条例

「児童クラブ」の対象学年を拡大

放課後児童クラブの対象児童をこれまでの小学校3年生から小学校全学年にまで順次拡大する。
また、第一・第三児童クラブは一組ずつ追加する。

Q. 児童クラブ指導員の名称が変わるようだが何か変わるのか。

A. 資格要件を設け、保育士等の資格取得者や児童クラブ指導員を2年以上経験した者を放課後児童支援員に、その他の者を補助員とする。

Q. 現在の指導員が資格要件を満たさず、補助員だけになることはないのか。

A. 現在指導員は28人で、その内、放課後児童支援員の資格を満たしている者は22人である。

Q. 町は、各児童クラブの管理や状況をどのように把握しているのか。

A. 担当職員が週1回児童クラブを訪れ事務連絡や情報収集を行っている。また、3カ月に1回は主任指導員を集めた連絡会議、非常時等には小学校とも連携し迅速な対応に努めている。

財産の処分

「くまの産業団地」1区画売却

町が深原地区に造成した「くまの産業団地」4区画のうち1区画を売却する。

【面積】5千136・14㎡

【価格】1億1千915万8千448円

■議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例

■特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例

■職員の給与に関する条例

人事院勧告等に基づく改正

【平成26年度実施分】

○期末・勤勉手当0・15ヶ月分引上げ
特別職で約38万6千円、職員で約76万1千8千円の増額。
議員1人当たり年間で約4万7千円の増額。

○職員の給料の引上げ（高位号給は据置）
平均約0・3%の引上げにより年間約198万8千円の増額。

○通勤手当の引上げ
自動車等による通勤職員の使用距離に応じた引上げにより31万4千円の増額。

【平成27年度実施分】

○職員の給料の引下げ

・給料表を平均0・2%引下げ
・50歳台後半層の水準の見直し、最大で4%程度引き下げ。

○単身赴任手当の引上げ

・月 額 2万3千円↓3万円
・加算額（最大）4万5千円↓7万円

○管理職員特別勤務手当の支給範囲拡大

これまでは、土日・祝日の勤務が対象だったが、災害への対処その他の臨時または緊急の必要により、平日の0時から5時に勤務した場合にも手当を支給する。

決議

■老朽化している教育施設の整備促進を求める決議

執行部に対し議会の意思を表明

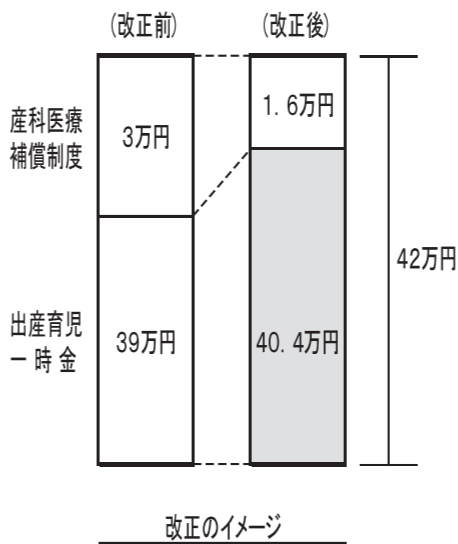
教育施設の老朽化対策は、喫緊の課題である。早急に改修計画を策定し、教育施設整備の推進に努めるよう町議会から町に求める。

■熊野町国民健康保険条例

「出産育児一時金」1万4千円引上げ

出産育児一時金の基本額を「1万4千円」引上げ「40万4千円」に増額する。
ただし、産科医療補償制度掛金を「1万6千円」引下げたため、支給総額の42万円に変更はない。

Q. いつの出産からが適応されるのか。
A. 平成27年1月1日以降の出産から適応する。



予算

■平成26年度熊野町一般会計補正予算

1千24万8千円増額し

78億3千359万7千円に

【主な歳出の内容】

○平成25年度精算による国庫補助金等の返還金 5千600万4千円増額

○放課後児童クラブ室の拡充費用（4年生までの拡大準備） 64万円増額

○道路等の緊急修繕費用（防災） 450万円増額

○河川の土砂を除去く費用（防災） 100万円増額

○中学校のトイレ等改修費用 162万円増額

○町民会館の太陽光発電設備設置設計費用（避難所機能強化） 200万円増額